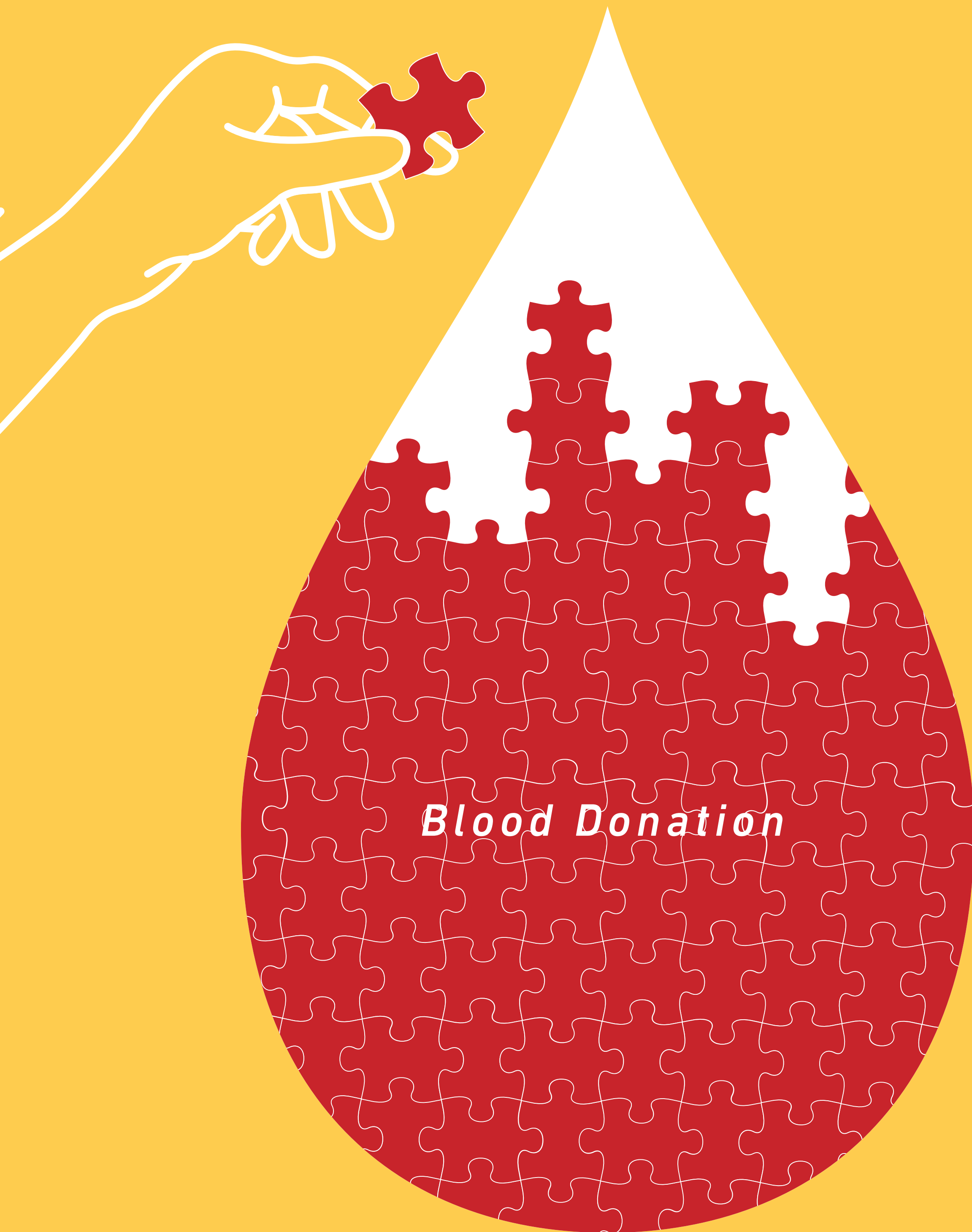


誰かの明日を考える。 はたちの献血



「献血」とは、病気やけがの治療で輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分から進んで血液を提供するボランティアです。



血液は、医療技術が進歩した今でも人工的に造ることができず、長期保存もできないため、一年間を通して継続的な献血へのご協力をお願いしています。



少子化により献血可能人口が減少している中、特に10代~30代の献血者が減少しています。患者さんに血液をお届けするためには若い皆さんの献血へのご協力が必要不可欠です。

献血にはいくつか種類があり、それぞれ献血できる年齢が決まっています。

	200ml 献血	400ml 献血	成分献血
献血ができる年齢	男	16歳から	17歳から
	女	16歳から	18歳から



血漿分画製剤とは、血液中の血漿と呼ばれる液体からつくられる「くすり」です。やけどや感染症、血友病などの病気の治療に使われています。

献血についての詳しい情報は、日本赤十字社のホームページをご覧ください。>>>>>

日本赤十字社 献血



「はたちの献血」キャンペーン(令和7年1月~2月)